20年に1度の伝統民俗行事　第4号　平成24年3月1日発行

伊勢のお白石持（しらいしもち）

遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

編集発行・御遷宮対策委員会
伊勢市岩渕1-7-17（伊勢商工会議所内）
電話0596-25-5215

「お白石持行事」が近づいてきました。奉献団のご準備はいかがですか？

第62回神宮式年遷宮が来年十月に迫りました。その式年遷宮に先立って執り行われる「お白石持行事」。各奉献団の奉献順序も決定し、催行の日が近づいています。

かつて神宮の旧神領民は、年貢の代わりに「お木曳」「お白石持」での奉仕が勤めとされ、それが民俗行事、伊勢の祭り、というかたちで継承されてきました。それぞれの奉献団では、この伝統ある行事に誇りを持って、奉献やお白石拾いなど、さまざまな準備を進めていただいていることと思います。

「お白石持行事」はもう来年の夏。宮川でのお白石拾いにでかけてみませんか？

平成二十四年三月四日（内宮）六日（外宮）神宮では立柱祭が執り行われ、いよいよ御正殿の建築が始まります。

立柱祭（りっちゅうさい）は内宮・外宮それぞれに御正殿の建築の初めに、御柱（みはしら）を立て奉る祭で、素襖烏帽子（すおうえぼし）姿の小工（こだくみ）が四組に分かれて十本の御柱を木槌で打ち固め、新殿建築の安泰を祈ります。

写真提供 神宮司庁

参拝の新しい拠点「せんぐう館」

平成二十四年四月七日、伊勢神宮・外宮に新しい資料館「せんぐう館」が開館します。

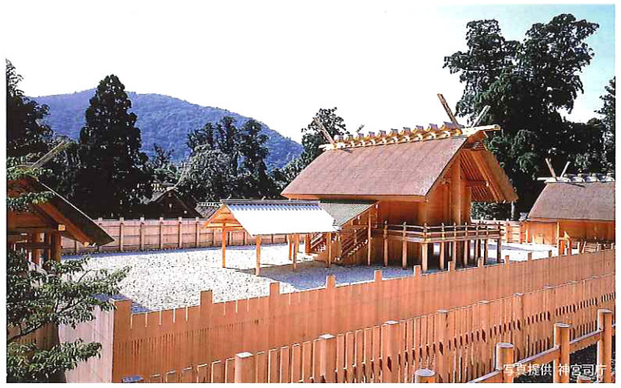
わかりやすい神宮・式年遷宮の展示とともにゆったりとくつろげる休憩施設を備え、多くの参拝者にとって参宮の入口となり、「神宮式年遷宮」についてより理解を深める拠点ともなっていくことでしょう。

遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

第六十二回神宮式年遷宮は来年平成二十五年秋、遷御の儀を迎えます。

二十年に一度新しい社殿を造営し、御装束・神宝までも古式のままに調進して大御神様にお宮遷りをいただく、式年遷宮は神宮の常若（とこわか）、つまり大御神の永久を祈り、さらなる御神徳と国の弥栄（いやさか）を願う神宮最大のお祭りです。六九〇年に内宮で、二年後の六九二年に外宮で初めて行われてから千三百年あまり連綿と続けられてきた、世界に例を見ない、日本の魂の継承ともいえる行事です。

今回の御遷宮では内宮、外宮ともに現在の御敷地の西隣に造営される社殿にそれぞれお遷りになります。


写真提供 神宮司庁

私たちが奉仕できる、お白石の奉献までおよそ五百日に迫りました。

御遷宮のための諸行事はすでに平成十七年の山口祭、木本祭から始まっており、平成十八年、十九年に伊勢市民をはじめ広く全国からお越しいただいた人々の手によって、御用材を奉曳するお木曳行事が無事に行われたことは記憶に新しいことです。

また平成二十一年の十一月三日には、五十鈴川に架かる宇治橋が架け替えられるなど着々と御造営の準備が進められてきました。

第六十二回神宮式年遷宮は平成二十五年秋に、大御神様のご神体をお遷しする遷御の儀を迎えます。伊勢市民が神領民として奉仕できる、私たちにしかできない大切な行事「お白石持」、奉献団に参加し、準備を進めていただきますようお願いいたします。

お白石持行事Q&A

Q 内宮領・外宮領、および川曳、陸曳とは

A 旧神領の町々は歴史的由緒あるいはその地域によって、内宮・外宮のいずれかに属しています。お木曳の時に内宮へ木ぞりで川の中を奉曳する（川曳）団が内宮領、外宮へ奉曳車を使って奉曳する（陸曳）団が外宮領です。お白石持では外宮領の団も、内宮領の団も両宮へ奉献します。

江戸時代中頃までは、お木曳と同様それぞれのお宮に奉献していたようですが、寛政元年の（一七八九年）の記録によると、お白石不足に悩む内宮へ、外宮領民も奉仕して、それを「信心持ち」と称え、両宮への奉仕は今日に至っています。

Q お白石はどんな石ですか？

A お白石は、宮川の流域で採ることができるとされる3～8センチの白い光沢のある石を奉献します。子どもの握りこぶしほどの大きさで、ほんのりと温かみを帯びた透明感のある純度の高い「石英系白石」と定められています。

Q お白石はどのようにして運ぶのですか？

A 各まちの奉安所に安置してあったお白石は、樽などに入れ飾り付けられた奉曳車に載せ、奉献団が揃いの法被で綱を曳き、また、内宮領では五十鈴川を川そりで、川曳の団が外宮へ奉献する際は、ソリを使って川ではなく小田橋から旧街道を通り外宮へと奉献します。

神域内に入ってからは一人ひとりが清浄な白布にお白石を包み持ち、お祓いを受けてから、新しいご正殿の御敷地へ。御門をくぐり遷宮後は決して入ることができない御垣内へと進みます。檜の香り漂う白木の御殿を間近に拝し、お白石をお納めします。

《お知らせ》

「お白石持行事」におけます特別神領民の奉献につきまして、「お白石持行事」の伝統や安全性を考慮して一般募集は致しませんので、ご了承ください。